

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	芸術・文化活動の推進	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		02-03-11		氏名	田原義大
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	2.0	時間

この施策の アピール ポイント	県内の子どもを対象とする焼物作品展の実施は本市だけ。国民文化祭を継承する取組み。
-----------------------	--

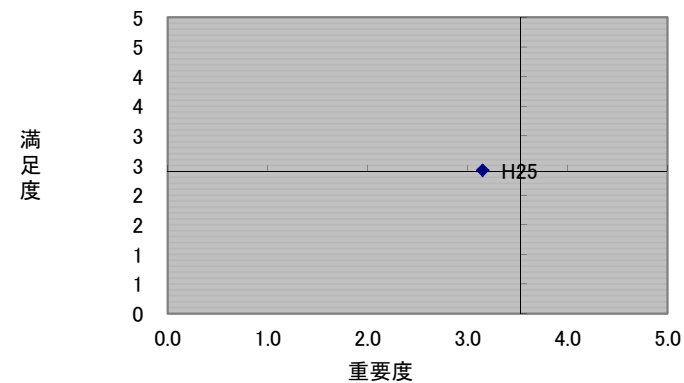
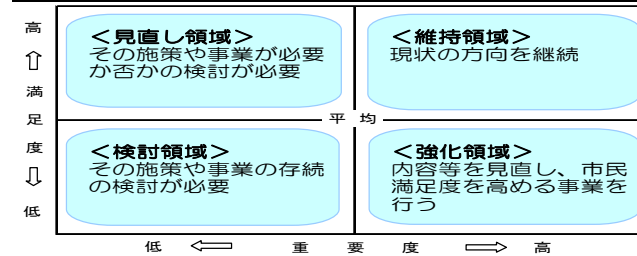
この施策の 平成25年度の 施政方針	平成22年度開催の国民文化祭で培われた次世代への伝統文化の継承という視点で、各種団体とともに文化芸術活動の振興を図っていく。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画 (中項目)	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かに暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民だれもが、いつでも気軽に芸術・文化にふれることで、楽しみや感動を味わい、心豊かな生活が送れるようにするため。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	芸術・文化は、ゆとりとうるおいの実感できる心豊かな生活を実現していく上で不可欠なものです。それらにふれる機会が十分確保されているとはいえません。市民が身近なところで、いつでも、気軽に音楽や演劇、美術にふれるなど、芸術・文化に親しむことができる機会や場所づくりを進めていく必要があります。特に、若者が芸術・文化にふれる機会が少ないことから、幼い頃から芸術・文化に慣れ親しめる機会を提供していくことも重要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化にふれる機会の提供</li> <li>・ 自主的な活動への支援</li> <li>・ 子ども芸術文化活動の推進</li> <li>・ 担い手の育成</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度				H25
重要度				3.15
満足度				2.42



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民の多くは文化・芸術活動に対し関心は示しているが、それらにふれる機会が十分確保されているとはいえない。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25			H26	H28
成果指標 芸術・文化イベント数	目標	件	260	260	市民センター、市民会館、公民館などで実施された芸術・文化イベント数	H26	260	
	実績	件	266	224		H28	260	
	達成率	%	102.3	86.2		H34	280	
	ベンチマーク							
参考指標① 文化祭入場者数	目標	人	10,000	10,000	公民館で開催する文化祭入場者数	H26	10,000	
	実績	人	9,133	9,745		H28	10,000	
	達成率	%	91.3	97.5		H34	12,000	
	ベンチマーク							
参考指標② 芸術・文化に接する機会があった市民の割合	目標	%	50.0	50.0	市民意識調査結果 (H25は未実施)	H26	50	
	実績	%	48.3	-		H28	53	
	達成率	%	96.6	#VALUE!		H34	57	
	ベンチマーク							
参考指標③ 岡山県子ども備前焼作品展応募者数	目標	人	1,000	800	岡山県子ども備前焼作品展応募者数	H26	800	
	実績	人	566	534		H28	800	
	達成率	%	56.6	66.8		H34	800	
	ベンチマーク							

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3		市民に文化・芸術に触れてもらう多くの機会があるということは、生活の中にゆとりとうるおいが感じられ心豊かな生活を実現していくことにもつながることになる。
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3		より多くの市民が文化・芸術にふれ、自主的な活動が行われるよう支援していくことで振興を図る。また次代を担う子どもたちにも芸術・文化を体験する機会を創出することは、将来の芸術文化の担い手の育成にもつながる。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		少子高齢化と人口減少が進む中、指標達成のハードルは上がっているが、魅力ある企画、情報発信PR活動を進め1人でも多くの市民が文化・芸術活動にふれることができるよう事業を展開していく。
進行年度 (H26年度) の取組内容 (課題解決状況)		子ども備前焼作品展は第5回目として継続実施する。また本年度は、市民文学賞を創設し市民の文芸活動の振興を図る。	
翌年度 (H27年度) の取組目標		上記事業を継続実施し、文化・芸術活動の振興を図る。	
二次評価者コメント		音楽や写真・絵画・書道展などの芸術文化や講演会など、知識欲や観賞熱など人生を豊かにしてくれるものへの欲求をニーズとして把握しきれないのか、文化への参加が少ないのが現状。しかし、継続して機会を提供することが、長期的には市民の文化への関心を高めると信じています。	基本施策への貢献度 <b>3 中立</b>
役職 教育次長 氏名 末長 章彦			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円、人）											施策への 貢献度
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	文化活動推進事業	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	109	678	0.08	109	440	0.05	105	604	0.07	105	☆☆☆
		こども備前焼作品展事業	単市	300	2,223	0.25	389	2,394	0.26	360	2,100	0.23	350	☆☆☆☆
02	吉永美術館管理運営事業	吉永美術館管理運営事業	単市	1,689	372	0.04	618	106	0.01	533	431	0.05	603	☆
この施策に費やした資源（単位：千円、人）				平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
				2,098	3,273	0.37	1,116	2,940	0.32	998	3,135	0.35	1,058	